

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年12月1日

事業所名: 放課後等デイサービス えーる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	0	0	プレイルーム・静養室・個室に分室している。	31	0	0	0	
	2 職員の適切な配置	5	0	0	勤務体制表を掲示している。また機関誌にて定期的に提示している。	27	2	0	2	えーるの機関誌にて紹介を定期的に行い保護者の方の理解を促していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	1	0	建物の構造上、段差をなくすことは難しいが、危険箇所のクッション素材での保護や点検を行っている。必要に応じて視覚支援カードやスケジュールカードを使用し環境整備に配慮している。	22	4	1	3	建物の構造上バリアフリー化は難しいが、特性に応じた視覚支援は取り入れて環境整備はしているものより工夫しわかりやすいものに整備していく。また、引き続き危険箇所のクッション材での保護や安全点検を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	5	0	0	洗面所にて各児童のタオルを配置し、毎日洗濯している。また、各主要部位の消毒を毎日行っている。(インフルエンザ等対策)	27	3	0	1	朝夕の掃除と消毒を引き続き行う。また、定期的に設備点検を怠らないようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	3	0	PDCA会議を定期的に行っている。	/	/	/	/	PDCA会議を2~3ヶ月に一度のペースで行い、より各職員の自覚の向上を図る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	/	/	/		/	/	/	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	0	0	毎週2回程度の会議または室内研修でスキルアップを行っている。	/	/	/	/	引き続き行うとともに対外的な研修も参加していく。また、その内容を各職員と共有する。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	5	0	0	アセスメント表やモニタリングや支援会議でのことや保護者の方のニーズ等をもとに支援計画を作成している。	30	1	0	0	アセスメントを行い、相談支援事業所・保護者の方とのモニタリング内や会議において、課題や保護者ニーズを把握確認し、支援計画案・書を作成している。又中間評価も定期的に行い、支援計画に反映させている。また、具体的支援内容の記載においては事業所の工夫した点(左欄)に記入。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	5	0	0	長期目標・短期目標・生活面・社会面・身体面に分けて具体的に支援計画を立てて、総合的支援や身体拘束や独自のクラブ活動・特化プログラムを盛り込んでいる。	30	0	0	1	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえなし	いいえ	はい	どちらとも いえなし	いいえ	わからない	
提供	3	5	0	0	<p>個別活動の個室SSTや特化プログラム、集団活動の遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ、計画の作成をしている。</p>				<p>引き続き個別活動(個室SSTや特化プログラム)、集団活動での遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ、計画に記載していくことで子供の具体的な目標を計画にしていく。</p>



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携 (続き)	3											
	4	3	1	1	日々学校のお迎え時必ずその日の様子を確認して共有している。支援会議に参加している。その他、毎年支援学校との会議を行い利用児童の支援内容の情報共有や共通理解を図っている。						支援内容の共通理解や共有をはかるため必要に応じて会議を増やせるよう検討していく。	
	5	3	2	0	相談支援事業所を通して支援内容を伝える。						引き続き相談支援事業所との引継ぎをしていく。	
	6	4	1	0	支援会議にて連携をとっている。また、センター主催の研修に参加させて頂いている。今年度は職員資格取得の受講も行った。						引き続き専門機関との連携や研修の受講を促進していく。また、市の連絡協議会の参加を継続していく。	
	7	1	4	0	児童センターや公園へのお出かけ等で関わる機会がある。また、地域でのイベントの参加もやっている。	9	6	3	11	・もう少し障害のない子どもとの接点があるとなお有難いです。 ・今はコロナ対策等で、ひかえているようなので、どちらともいえないにしました。	休日や長期休暇において引き続き児童センターへ行ったり、地域の催しに参加したりする。	
	8	2	3	0	畑で作業をさせてもらう等地域の方と過ごす機会がある。出前講座に参加したり、ボランティアとの関わりを持つ機会がある。						引き続き地域の方と過ごす機会を設け、活動の理解を得られるようにしていく。また、ボランティアとの交流を増やしていく。	
	保護者への説明責任・連携支援	1	5	0	0	契約時に保護者の方と面談し、相談支援事業所間でのサービス計画案等に基づきアセスメントや支援内容を具体的に決め、重要事項説明時には利用者負担等についてもしっかりと事例を出し説明している。	31	0	0	0		引き続き書面や口頭での説明をしっかりと行っていく。
		2	5	0	0	支援計画案で確認し支援計画書を作成していく。また、保護者と対面し内容の説明をしている。	31	0	0	0		引き続き計画案・書を説明して確認を怠らないようにしていく。
3		5	0	0	保護者お茶会を2ヶ月に1回行っている。その中でペアレントトレーニング等の支援を実施している。	29	1	0	1		引き続きお茶会でのペアレントトレーニングの支援を心がけ、える機関誌の中でコーナーを設けていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5	0	0	連絡ノートにて状況や遊び等の様子を伝え、必要に応じて電話や口頭にて伝えている。（年に1回懇談会を開いている）	30	0	0	0	引き続き行っていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	0	0	モニタリングや会議を通しての相談や連絡ノートでの対応。お迎え時などでの助言を行っている。また、年1回懇談会や必要に応じて事業所から会議をお願いし相談の機会を設けている。	28	1	1	1	引き続き行っていく。また必要に応じて相談の機会を定期的に設けていき、保護者の方に機関誌を通して周知していただく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	5	0	0	2ヶ月に一度保護者お茶会を設け講演会やえーるでのおやつやクラブ、趣味的な催しを企画し保護者間の交流を促している。	27	0	0	1	引き続き行っていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5	0	0	苦情ボックスを玄関に設けている。	21	1	0	6	苦情ボックスの周知を行う。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5	0	0	毎日連絡ノートにて様子を伝えている。また、電話でのやりとりもしている。えーるだよりの機関誌を毎月発行している。	26	1	0	1	引き続き行っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	0	0	毎月のえーるだよりの機関誌やFacebook等で情報を伝える。また、状況に応じてお知らせ等の文書を作成し保護者に伝えている。	27	0	0	1	引き続き行っていく。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5	0	0	職員においては入社時個人情報取り扱いに関しての誓約書を、保護者の方とは個人情報に関する同意書及び契約書にて説明し同意印を頂いている。その他、職員については定期的に研修を行っている。	27	0	0	1	引き続きしっかりとした取り扱いを行っていく。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	0	0	目につくところに設置している。マニュアルを使い定期的に研修を行っている。	27	1	0	0	・マニュアル等はお聞きしていないです。 えーるたより等にて各マニュアルの設置場所や内容について定期的にお知らせしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	5	0	0	毎月1回(25日)いろんな災害を想定しての避難訓練を行っている。また、職員研修にて色んな状況を想定した対応等を話し合っている。シェイクアウトえひめにも参加している。	28	0	0	0	引き続き行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応（ 続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	5	0	0	週2回程度の研修において定期的に行い、事業所外の研修にも参加している。また講師を招き講演をして頂いている。	/	/	/	/	事業所外での研修を増やしていく。（コロナ収束後）
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5	0	0	放課後等デイサービス支援計画書において記載し、カンファレンスを行い活動プログラムまたは記録に記載している。	/	/	/	/	引き続き徹底していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	/	/	/	アセスメント時に確認事項に記載している。	/	/	/	/	引き続き確認していく。場合により医師の診断書で詳しく確認対応する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	0	0	事例集を作成し、事業所（3ヶ所）を合わせて対策を話し合っている。	/	/	/	/	引き続き事例集を作成し徹底していく。